

# 第1号議案 令和3年度事業報告について

## 1 オーケストラ運営事業会計（公益目的事業会計1）

（ ）＝県外公演数（内数）

区 分		3年度実績	摘 要
1 オーケストラ運営事業			
自主公演	定期公演	18（3）公演	県内、東京、大阪、名古屋 県内、富山、新潟、長野 等
	特別公演	22（12）公演	
	音楽堂特別公演	6（0）公演	
	ファミリー公演・入門コンサート	3（0）公演	
	新人登竜門コンサート	1（0）公演	
	小 計	50（15）公演	
依頼公演	小・中学校公演	6（3）公演	高岡 県内、福井、岐阜、長野 等
	市町・企業等依頼公演	23（9）公演	
	CD等録音・収録依頼	3（0）公演	
	小 計	32（12）公演	
海 外 公 演		0（0）公演	
		合 計	82（27）公演
小編成による室内楽公演		73（7）公演	
2	ジュニア・アマチュアオーケストラの育成振興事業	○ジュニア・オーケストラ開催 ・5/4（火・祝）いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭 ・3/27（日）第28回定期演奏会	
3	その他、音楽文化を通じて地域振興に寄与する事業 ・楽器技術講習会  ・合唱団の育成  ・ボランティア公演実施	○楽器技術講習会の開催 ・10/1（金）金沢地区（石川県立音楽堂） （クラリネット奏者吉田誠によるレッスン）  ○オーケストラ・アンサンブル金沢合唱団の育成 ・東京混声合唱団のリハ見学 ・オペラ「禅」公演に出演  ○ボランティア公演の開催 ・金沢駅構内コンサート （コロナにより中止） ・県内医療機関・福祉施設 （同上）	

## 令和3年度 オーケストラ・アンサンブル金沢の特徴的な事業

- (1) 北陸新人登竜門コンサート ピアノ部門  
5月16日(日) 石川県立音楽堂コンサートホール  
※新型コロナウイルス感染症対策により無観客。後日、収録映像をWebで配信
- (2) いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭2021への出演  
4月28日(水)～5月5日(水祝) 石川県立音楽堂コンサートホール他  
オーケストラ公演：計7公演(オープニングコンサート1公演を含む)
- (3) 音楽堂開館20周年記念公演  
山田和樹(指揮) with O.E.K.特別公演  
共演：仙台フィルハーモニー管弦楽団 など  
9月12日(日) ※開館記念日 石川県立音楽堂コンサートホール
- (4) ベートーヴェン生誕250周年記念 ベートーヴェン交響曲全曲演奏会  
マルク・ミンコフスキ芸術監督によるベートーヴェン交響曲全曲演奏会 計5回  
第1回 7月10日(土)  
第2回 7月13日(火)  
第3回 7月15日(木)  
第4回 10月21日(木)  
第5回 3月5日(土) ※指揮者変更：鈴木雅明
- (5) オペラ「ZEN」公演  
1月23日(日) 金沢公演(金沢歌劇座)  
2月6日(日) 高崎(群馬)公演

## 2 音楽堂自主事業会計(公益目的事業会計2)

石川県立音楽堂自主事業を3ホール合わせて19事業を実施

洋楽の部	邦楽の部	交流ホールの部
パイプオンガルシリーズ公演(年間2回) 伝統芸能・日本語オペラ公演 和洋の響き ランチタイムコンサート(年間6回) アフターセブンコンサート(年間2回) キッズコンサート(年間2回)  他4事業実施	野村萬斎邦楽監督就任記念公演 (10月)  新春槍舞台(1月) 芸の鼓動(3月) こども邦楽アンサンブル  他2事業実施	音楽堂フェスタ (8/7～8/8)  〔親子で楽しめる伝統芸能 等の体験イベント〕 おしゃべりクラシック  〔各種室内楽公演 年間3回〕 カルチャーナビ  〔クラシック音楽講座や 芸能講座 年間6回〕
計 10事業	計 6事業	計 3事業

## 3 音楽堂管理会計(公益目的事業会計3 及び 収益事業会計)

石川県立音楽堂の管理運営(県から指定管理者に指定：平成30年4月1日～令和5年3月31日)

年間ホール利用	コンサートホール	225日	
(本番・練習)	邦楽ホール	152日	総入場者数114,649人
	交流ホール	240日	

#### 4 事業団における新型コロナウイルス感染症対策について

5月9日から6月13日まで新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う石川緊急事態宣言の発令に伴い、事業団主催の11公演について、延期（7公演）、中止（3公演）、無観客で収録映像をWeb配信（1公演）の対応を行った。

このほか手指消毒液の配置、公演毎の客席の消毒、歌手が登場する公演については、客席の舞台から前2列を空席にする等の感染症対策を講じた。

#### 5 当期収支における新型コロナウイルス感染症の影響について

【オーケストラ運営事業会計（公益目的事業会計1＋法人会計）】

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、公演の一部を中止又は延期したこと等により、チケット収入等の事業収益がコロナ前と比較して減少しているが、国の新型コロナウイルスに関連する補助金等の積極的な獲得に努めた結果、新たな財源を確保できたことや、公演中止による出演者への報償費の減や海外アーティストの入国制限による旅費の減など事業経費を抑えることができたことで当期収支は大幅な黒字決算となった。

当期一般正味財産増減額：88,462,396円

【自主事業会計（公益目的事業会計2）】

前期繰越金の2千9百万円を活用し、音楽堂自主事業基金からの取り崩し額を2千万円減額したことに伴い、2千万円の赤字となる予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、公演の一部を中止したこと等により、事業経費を抑えることができたため、赤字額を圧縮することができた。

当期一般正味財産増減額：△12,474,757円

【管理会計（公益目的事業会計3＋収益事業等会計）】

昨年度よりも、貸館収入や駐車場収入が増加したものの、光熱水費や消毒清掃費の増加、音楽堂20周年記念事業の臨時的経費により当期収支は赤字となった。

当期一般正味財産増減額：△19,491,467円

【全体の収支】

オーケストラ運営事業会計で計上した大幅な黒字額が、自主事業会計および管理会計の赤字を大きく上回っており、法人会計を含めた事業団全体の当期収支は黒字決算となった。

当期一般正味財産増減額：56,496,172円

（詳細は次頁以降参照）